

市区町村名	愛媛県八幡浜市	担当部署	政策推進課
		電話番号	(0894) 24-3111

1 取組事例名

- ・郷土の偉人と地名の縁による自治体間交流事業

2 取組期間

- ・平成25年度～（継続中）

3 取組概要

- ・地名と偉人で縁の深い京都府八幡市との交流の懸け橋として、中学生による交流事業を実施し、継続した交流に向けた相互理解及び信頼関係を構築し、民間企業や住民同士の交流にもつなげ地域活性化を図る。

4 背景・目的

- ・地名が「八幡」という字だけでなく、「やわた」の読みも一致していることや、二宮忠八翁という歴史上の偉人でも非常に縁深い京都府八幡市と、文化交流等を通じて相互の魅力や価値を高めることにより、継続的な交流の確立及び今後の友好都市の提携に繋げていくことを目的とし開催している。
- ・八幡浜市出身の二宮忠八は、ライト兄弟の有人飛行実験成功より12年前に、自作のゴム動力飛行機を飛ばし、日本初のプロペラ飛行実験を成功させた人物である。大阪で実業家として成功し、有人飛行機の開発に挑戦するために選んだ地が京都府八幡市であった。しかし、ライト兄弟の有人飛行成功により、開発を断念することとなるが、晩年は飛行機事故で航空犠牲者の霊を弔うために飛行神社を創建し神主として仕え、余生をを過ごした土地も八幡市である。

5 取組の具体的内容

- ・公募で決定した中学生約20名が、夏休みを利用し、隔年でそれぞれの自治体を2泊3日の日程で訪問し、自分達のふるさとの紹介をし、共通の話題である「二宮忠八翁」について深く学び、自然や文化に触れる様々な交流体験プログラムを通じて受入れ側の中学生との親睦を深める。
- ・今年度は、京都府八幡市の中学生20名が8月17日から19日までの3日間、八幡浜市を訪問し八幡浜市の中学生29名と一緒に、地引き網体験やクルージング体験を通じて八幡浜の豊かな自然に触れる。また、二宮忠八翁の半生を描いた坊ちゃん劇場のミュージカル「二宮忠八物語」を観覧した後、生誕の地やその周囲の町並みを見学することで、交流のきっかけとなった二宮忠八翁への理解を深める。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・地域資源を活用しながら、中学生が楽しめる内容になるように職員が独自に体験プログラムを考案した。
- ・今年度、八幡浜への受け入れにあたり、京都府八幡市は海に面していない地理的条件のため、自然豊かな海に面している八幡浜の魅力を感じてもらえるような体験プログラムを地元公民館や離島航路事業者の協力により考案し、市民ミュージカル開催で縁のある、坊ちゃん劇場にミュージカル「二宮忠八物語」の講演を依頼した。

7 取組の効果・費用

- ・地元の中学生にとっても地域の魅力を再発見する機会となった。
- ・今年度より八幡浜市の特産品である温州ミカンを冷凍した、「冷凍ミカン」が八幡市の学校給食に採用されることが決定している。
- ・二宮忠八翁生誕150年を記念する企画展を愛媛県及び八幡浜市で開催するにあたり、飛行神社より貴重な所蔵品を貸出しいただいた。

○取組みに要した費用 平成 26 年度（八幡浜市へ受入れ）304,800 円
 平成 27 年度（八幡市を訪問）414,439 円

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・八幡浜市は市長部局である政策推進課が事業を担当しているため、中学校とのやりとりに苦慮したが、教育委員会へ協力を求め、教育指導主幹と相談・協議しながら事業をすすめ、中継をお願いすることで大きな問題無く進めることが出来た。
- ・八幡市は教育委員会の学校教育課が事業を担当しているため、政策の横展開へ結び付けていくことに苦慮したが、八幡市を当市の市長・副市長が表敬訪問することで、具体的な展開への足掛かりを作ることが出来た。

9 今後の予定・構想

- ・同時に被災する可能性の低い、四国と近畿という遠隔地の立地を生かした、災害時相互応援に関する協定締結を締結予定。
- ・京都府八幡市のご当地グルメと八幡浜市のご当地グルメのコラボ商品の開発を検討したい。
- ・坊っちゃん劇場ミュージカル「二宮忠八物語」の京都府八幡市での開催を実現したい。
- ・中学生を受け入れるための体験プログラムや受入れノウハウなどを、移住体験や着地型観光など他の交流事業へも活用していきたい。

10 他団体へのアドバイス

- ・交流事業と通じ相互の地域資源を比較し見つめ直す機会となり、中学生という柔軟な発想の持ち主が交流することで、さらに新しい発見の可能性を秘めている。